

～男女共同参画社会の実現に向けて～

# モア MORE

さってひとひと  
幸手市女と男の情報紙  
第13号 2008

モア(MORE)とは、より多く、よりすばらしいものにと、さらに女と男がより豊かに、と願いを込めて、この情報紙を命名しました。



題「春の訪れ」 水上弘子さん (市内東5丁目在住)

ぬくもり

家の外は

夏は 暑すぎる

冬は 寒すぎる

秋は 寂しすぎる

春は 優しすぎる

だから 僕は 苦手

でも あなたといれば 平気  
いつだって 僕を 包んでくれる

夏だって 冬だって

嫌がる僕を 励ましてくれる

秋だって 春だって

怖がる僕を なだめてくれる

いつも 心に浮かぶのは

感謝 そして 不安

僕はつばやく

(迷惑かけて ごめんなさい)

でも 母は言う

「あなたがいるから 頑張れるのよ」

嬉しかった

勇気が出た

いつも あなたの「ぬくもり」が  
僕の背中を 押してくれる

ありがとう

お母さん

栄中学校

二年 菊池 利奈

(平成二十年三月現在)

プロフィール

1957年、名古屋市出身のシンガーソングライター・カウンセラー。

10代には非行に走り、荒れた青春時代を送ったものの、その時代を宝として現在の生活や音楽活動などにかかっている。全国各地で年間100回あまりのコンサートとともに、子育て支援の講座、カウンセラー養成講座など250回以上の講演活動を行い、子育てに悩む母親たちの相談にもっている。

コンサートのテーマは「愛されて育つ」「ありのままが素晴らしい」「愛ひとつあれば」など。



♪がんばらなくてもいいよ



花の美しさを数字で表すことができないように空の大きさを言葉で説明しきれないようにだれが何と言ったとしてもどんな点数つけられても気にしない君らしく生きて欲しいんだ

※がんばらなくてもいい

もう君は精一杯やってきたんだからだれも君を責めたりはしないだからね

何かに応えようとして自分を見失ってきた誰かのためにならなくてはいけないと何処かで誰かが言っているよそんな気がしてならないから結局、イイ子になろうとしてきただけなんだ

※繰り返し



★「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担に対してどう思いますか。

- ①同感する 13%
②どちらともいえない 49%
③同感しない 37%
④わからない 1%

★家事・育児など「共同して分担すべき」ということについてどう思いますか。

- ①主に男性がすべき 0%
②共同してすべき 88%
③主に女性がすべき 8%
④その他 4%

★男女の地位の平等感についてどう思いますか。

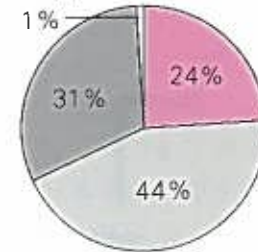
- ①男性の方が非常に優遇されている 6%
②どちらかといえば男性の方が優遇されている 71%
③どちらかといえば女性の方が優遇されている 7%
④女性の方が非常に優遇されている 2%
⑤わからない 14%

★「政治」の中で感じる男女の地位の平等感をどう思いますか。

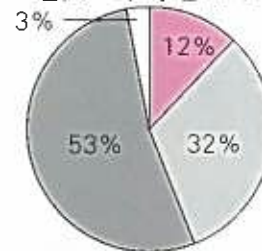
- ①平等になっている 17%
②どちらともいえない 28%
③平等になっていない 51%
④わからない 4%

男女共同参画アンケート (セミナー等による皆さんの意見)

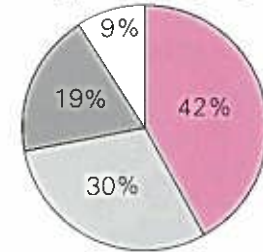
●「家庭」の中で感じる男女の平等感は？



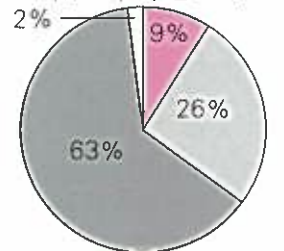
●「社会通念・風潮」の中で感じる男女の地位の平等感は？



●「教育」の中で感じる男女の地位の平等感は？



●「職場」の中で感じる男女の地位の平等感は？



凡例: 平等になっている (pink), どちらともいえない (grey), 平等になっていない (red), わからない (white)

幸手市男女共同参画推進協議会の主催によるセミナー等参加者に、アンケートを実施いたしました。ご協力ありがとうございました。

回答者数 112名
男女比 男23% 女77%
年代 30代2% 40代9% 50代31% 60代54% 70代4%

ひとひと (女と男の共生セミナー)

南 修治 コンサート

平成19年11月25日(日)、ウェルス幸手において、「人、それぞれがもちいられる社会」をテーマにシンガーソングライターの南修治さんをお招きし、コンサートを開催いたしました。

コンサートに先立ち、日本女性会議2007年ひろしまの報告がありつづいて、委員による共同参画のPR寸劇が行われました。ある家庭での出来事です。勉強の嫌いな娘の、「勉強なんてしなくて、いい人と結婚すればいいのだから。」という言葉からのひと騒動です。今の時代、誰もが自分の意志で社会に参画していくことが大切なのではないでしょうかと、問いかけました。

そして、いよいよ南さんの登場です。南さんは、子どもの頃に持った劣等感から非行に走り、荒れた青春時代を送ったことや、荒れている子どもが、南さんと過ごすうちに、立ち直っていく姿を歌を交えて心あたたかい歌詞とともに話してくださいました。

どんな子どもも、そこにいるだけで素晴らしい。どんな花が咲くかわからない、小さな種なのです。自分の花を咲かせればいい。無理に薔薇にならなくてもいい。今のまま、そのままで充分素晴らしいのだから。大人も女だから、男だからと縛られず、そのままいいのですと、してくださいました。

南さんの歌とお話に、参加された皆さんが、深い感動で目頭をおさえていらっやいました。そして、娘に聞かせたかった、学校でも南さんのコンサートをしてほしいと、言う声が多く聞かれました。



【南修治コンサート感想文】

- 「誉めて、認めて、受け止めて、否定しないで、話しを聞く。溢れる愛で抱きしめる。」ありのままを受けとめる。大切な事ですね。ややもすると忘れかけてしまうものを思い起させていただきました。素晴らしい内容、感動、感激をもっと多くの人、子どもたちにも聞かせたかったです。今の世の中に欠けている事を歌にして伝える南さんの今後のご活躍とご健康を祈ります。
●感動しました。お話も、歌もとても心にひびきました。子育ての身にまさる思いや、3人の孫と暮らしている今、息子達の将来をいろいろ考えさせられます。
●過去の子育ての中でつまづいた時がよみがえってきて涙が出てしまいました。あの時、こんなお話しが聞けていたら……
●思ったよりずっと良かった。歌だけでなくお話にもひきこまれました。全国の大人達にも南さんのコンサートを聞いてほしい。



## 民生委員児童委員研修会

7月18日(水)、幸手市民生委員児童委員協議会の研修会で、『男女共同参画について』話をする機会をいただきました。

まず、人間には生まれつきの生物的性別(セックス)がある一方、社会通念や長年の慣習の中で作り上げられた男性像、女性像がある。その男性、女性の別を「社会的性別(ジェンダー)」ということ。ジェンダーは、それ自体に良い悪いの価値を含むものではなく、国際的にも使われていることを説明しました。

そして、平成19年2月に県が発行した「推進プラン」に基づいて、埼玉県男女共同参画推進状況の報告をしました。

- ①男は仕事、女は家庭という固定的な考えに対して「同感しない」が女性で半数。男性で約4割を占めている。「同感しない」人の割合は、平成15年の調査時より、増加傾向だが5割には達していない。
- ②男女の地位の平等感。男性は、男女平等になっていると感じている。しかし女性は、社会通念・風潮、政治等において平等になっていないと感じている。
- ③合計特殊出生率※が全国で8番目に低い。

※ 合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に子どもを産むとした場合の平均の子どもの数。



ウェルス幸手研修室

④子育て期の女性(30歳～39歳)の有業率は、全国で6番目に低い。

⑤女性の非正規(パート・アルバイト)雇用者の割合が全国一高い、等々。

この結果をふまえて県では、就業環境の整備や子育て・介護の充実、ドメスティック・バイオレンスへの対策等、男女共同参画実現の為に実行ある施策に積極的にこれからも取り組んでいくそうです。

家庭・職場・学校・地域で、一人ひとりの男女の人権が尊重される社会になるよう心から願っております。

幸手市民生委員児童委員協議会の皆さんには、身近な問題としてとらえていただきました。貴重なご意見も頂戴し、ありがとうございました。

## 日本女性会議2007ひろしま

平成19年10月19日(金)・20日(土)、「一人ひとり響きあっていまそして未来へ」のテーマのもと、全国から3,500人が集い国際平和都市・広島で開催されました。

一日目は、福祉・平和・環境・キャリア教育・政治参画等々、16の分科会が開かれました。

二日目は、内閣府男女共同参画局長の板東久美子さんより、男女共同参画基本法(第2次)における新たな分野への取り組み等、現状と課題をお話いただきました。引き続き、『平和を創り出す若者たち～ヒロシマから世界へ発信』と題してのシンポジウムです。世界を舞台に平和活動をしている女性三人が、他国でヒロシマの原爆の話や、ヒロシマの人々の思いを伝えることで、未来の平和を創り出していきたいと熱く語っていました。

そして記念講演は、「もしも世界が100人の村だったら」の著者、作家の池田香代子さんの講演です。

人として幸せなことは

- 1、友達がいること

2、文字が読めること

3、とにかく生きていること

私たちにとってあたりまえのことが、この地球上には、手に入れられない人々がたくさんいる。だからこそ、微力ではあるけれど無力ではない私たち一人ひとりがきちんと考えていくべきだとおっしゃっていました。

今回の開催地の広島は、原爆という悲劇の歴史を乗り越え、復興を遂げた美しい街です。その広島平和公園の《平和の灯》は、ずっと消えることなく燃え続けています。この灯は、核兵器がなくなった時に消えるそうです。

一日でも早くその日が来ることを、世界の真の平和を、強く願わずにはいられませんでした。



「日本女性会議2007ひろしま」のシンボルマーク 平和のシンボルである「原爆ドーム」をモチーフに、大会参加者が優しい表情に描かれています。

## ひと ひと 女と男の共生セミナー 「自分発見のコミュニケーション」

平成19年8月26日(日)、ウェルス幸手において、「自分発見のコミュニケーション」をテーマに埼玉県民センターの重田昌行さんを講師にお招きし、セミナーを開催いたしました。

- なぜ人は他人から承認されたいか。
- なぜ他人を承認することが大事なのか。
- なぜ自分で自分を承認するだけでは不十分なのか。

今ここで、①積極的に…②新しい経験を…③枠はずして…④他の人からのフィードバックを…⑤今の自分を知る…

このような一見難しい話をされました。具体的な話では、親密感・信頼感を持つてのコミュニケーションの中では、自分を大事にする、親が子どもを大事にする。また、親は一人てくよくよし



重田昌行さん



PR寸劇

ないで、他人と接し、積極的に輪を広げる必要があると話されました。また、「話をきく」には3つの「きく」があると話されました。

一つ目の「聞く」は、音楽を聞く等です。つまり、聞くという行為には、まったく興味のない話など、いわゆる「聞き流す」ことのできるものもふくまれます。

二つ目の「聴く」は、相手に耳を傾ける。いわゆる、「聞く」よりもっと能動的で「耳を傾けて聞く、注意深く聞こうと努力する」という意味があります。

三つ目の「訊く」は、尋ねるという意味があります。

このような話を聞くと親は子どもの話を聴き、夫婦はお互いの話を聴き、相手を認めあうことが大切だと思いました。

女として、男として、また、妻として夫として一番大事なコミュニケーションのとりかたを笑いを交えながらも真剣に話されました。

## ときめき感動の時『私の生活日記』

「おばあちゃん家に粘土板ある？明日学校で使うんだけど」と近くに住む孫からの電話。夜になって明日の学校の準備が揃わなくて困っている様である。「ちょっと待っててね」と電話を切らずに私の手は迷うことなく押し入れのその場所へと伸びて、息子が幼稚園時代に使っていた粘土板を取り出した。電話の向こうで孫の嬉しそうな声が弾んでる。

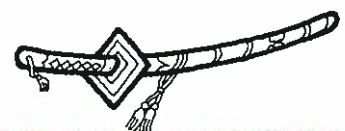
こうして孫は我が家の押し入れをまるでドラえもののポケットとと思っているのか色々と要求してくる。着物姿の童人形を見つけては、「座敷童子だ」と言って遊んだり、孫の世界に就いてやれるのが私にとって至福の時でもあるのだけれど。

五十代も後半の私。そろそろ「古い支度」の言葉が頭をよぎる。極力、引き算の生活を心掛

ようと思うのだが、つい先日も夫の田舎から車に積めるだけ詰め込んで、親の遺品と証する品々を持ち帰ったばかりである。

さて、これらの落ち着き場所を確保するのにまたひと苦勞。結局は新参者(物)に押し入れの一部を明け渡し、放り出されたかつての主たちが部屋の隅に積み上げられてしまった。

そこへ遊びにくるなり孫は、「あっ白虎刀だ。これ欲しいな」と、あれやこれや掘り出し物でも探すように積み上げた山を崩していく。「ああ」と溜息がでる。この分だと古い支度はもう少し先に延ばして、当分は孫にとってのドラえもののポケットを優先させようかな……



## 揮きコーナー 我が家の場合

今回、登場していただく方は、とても若いお二人です。創業70年以上になるお店の三代目、鈴木雅之さん充恵さんご夫妻です。今回リニューアルオープンした和食を主とする、とても落ち着いたお店です。二代目のお父さんの味と三代目の雅之さんとの味の良いところを取り入れながら、8割がた雅之さんが献立を決めているとの事です。そして充恵さんの提案で若い人たちにも気楽にのんびりと召しあがっていただきたいとランチも始めました。

とても頑張っているご夫妻は、お友達の紹介で知り合いゴールインしたそうです。現在、6歳と3歳の子どもの親でもあるお二人。お店と子育ての両立で大変な事も多いですが、今はお店の成功と、お客様に楽しんでいただけるか、美味しいと



素敵なお二人

言っていただけか、と言うことで精一杯だそうです。お父さん、お母さんの協力を得て、やさしい雅之さんと一生懸命全力で進んでいく充恵さん。とても明るく素敵なお二人の夢は、第2・第3のお店を持つことだと、目を輝かせながら話してくださいました。

今後ともお二人で頑張ってもらいたいと思います。

## With Youさいたま研修会

7月27日(金)、当協議会委員がWith Youさいたま～埼玉県男女共同参画推進センターを視察しました。

誰でも利用できるこの施設には、情報ライブラリーが備えられ、男女共同参画に関する図書やAV資料が収集され予約や貸出しもされています。

また、With Youさいたまでは、セミナーの開設や相談事業などの支援も行っていますので、出逢う情報の場”として気軽に訪れてみてはいかがでしょうか！

### With You さいたま

埼玉県男女共同参画推進センター

〒330-0081

埼玉県さいたま市中央区新都心2-2

TEL 048-601-3111

048-600-3800 (相談専用)

FAX 048-600-3802

開館日 毎日(年末年始12月29日～1月3日・  
毎月第3木曜日を除く)

開館時間 9:30～21:00 月～土曜日

9:30～17:30 日曜・祝日

## 表紙の写真



水上弘子さんは、現在、東校会写真クラブに所属され、カメラ撮影を始めて7年になられます。平成18年幸手市観光協会主催による観光写真コンクールにて、「雪の宇和田公園」で優秀賞を受賞されました。

今回の作品は、「春の訪れ」ボビー畑からの撮影です。

### ● ● 編 ● 集 ● 後 ● 記 ● ●

インターネットで、調べたい情報がすぐ見られる時代。それでも、今回取材をして生の声を聞き、それらを伝えることは、とても意義のある事だと考えさせられました。

「モア」へのご意見ご感想を事務局までお寄せ下さい。